

第四回 洛友会總会通知

第四回総会を左記要領により京都にて開催いたしますから、出来るだけ多数の方の御出席をお待ちいたします。

記

二、集合時間
十一月六日(日)
午前十時

四、三、會順序場 母校電氣工學教室

イ、会長挨拶
口、事務並に会計報告

六、五、
懇親會記念攝影

午前十時半、借切バスにて出発、石山三日月樓にて開催、午後一時石山出発。浜大津—坂本—堅田—白鬚神社—今津を経て右に竹生島を眺め湖岸の秋色を賞でつつ海津大崎に至り休憩す。

七、會費

昭和十年以前の方
六〇〇四

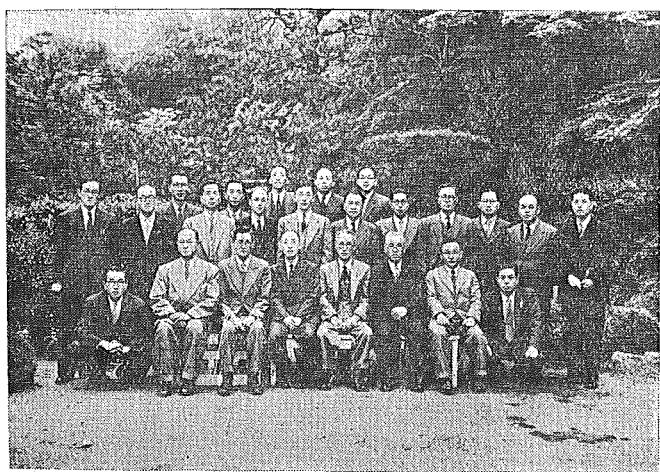
昭和二十一年よりの方

昭和二十一年以後の方
四〇〇四

会費は別紙振替用紙にてお払い込み下さい。お払込みをもつて
御参加申し込みといたします。申込十月末まで。

昭一〇同期会

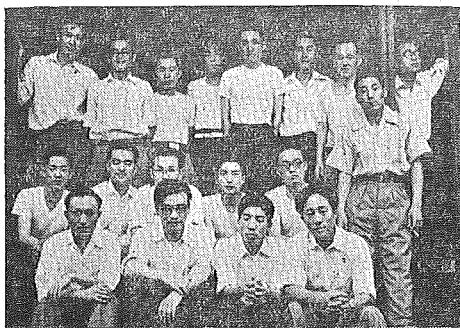
任者を選選び得るのに、目前に迫る今になつて、否応なしに押付ける術策ではないか、些か酷な仕打ではないかと思ひかけたのですが、いや／＼左にあらず、君は左様な人格の人々にあらず、自分の敬服している人を困らしては申訳ないと、実は深い考えもなく、自信もなく引受けた返事をして仕舞つたのであります。後刻就任挨拶だけにでもと出席を促されたのですが、胃痛は治まらず、不本意ながら出席叶わず、会員各位より推挙の光栄を受けながら、挨拶もなし得なかつたその非礼を茲に陳謝する次第であります。



昭二セラス会

昭和廿七年度卒業生関西地区在住者のクラス会を七月三日午後一時、大阪天六にて開催しました。卒業後三年振りの初の会合で出席者は在籍人員の三分ノ二の十八名にも達し予想以上の盛会でした。皆な学生時代とは打って變った紳士振りで、この内既婚者は五名でした。会合は終始親しい談笑のうちに夕食と共に午後六時散会しました。当日の寄せ書きと記念写真を同封致します。

林記



即ち私は全く山村君の人の德に魅せられたのでありますて、斯かる人が御多忙をも顧みず、面倒なる洛友会の幹事を引受けさせて下さればこそ、会も永続して隆昌に向うのであると思うのであります。

数日後同君來社せられ、種々会務の話の折、会費の集金には一番頭を悩ます、会費收入が七〇%を下ると経営困難となる、昨年は七五%今年は七二%に低下したと、しみじみと心配しておられるのを聞き、この人を心配しては相済まぬと、私一人では大海の一滴かも知れませぬが、会費は即刻納める決心を致しました。人間として欲しいものは、人徳だとつくづく思いながらこの筆を擱きます。

アメリカ見たまゝ（その一）
聞いたまゝ（その二）
林重憲

アメリカ見たまゝ
聞いたまゝ (その二)

林重憲

憲アメリカの会員の皆様へ
珠玉の御意見を承り、誠に感謝いた
ります。その上を時速六十哩のス
ピードで自動車、トラック等が鳴ん
ておられます。従つて何等かの原因
その一台のスピードが落ちるか、
はストップするかしたなら、サア
麥、後方の自動車はドン／これ
追突し、一挙に死人の山が出来る
いう甚だ物騒な状態であります。
のようなことを聞いてフリー・エイ
ドライヴすると余り心地の良いも
ではありません。こうなると交通
利器も人類に取つては却つて重荷
なつて参ります。

又この二百万台の自動車が昼と
夜、夜といわば、カリコオルニ
州のガソリンをドン／煙に吐き
し続けますため、さすがに風光明媚
結果に

千歳を経て風光良き支笏湖に臨み、更に新緑に包まれた千歳鮭鱗孵化場を見学、終始楽しいリクリエーションとして過ごしました。集つた会員八名、大塚、小田、部、俣野片山、副島、生田、森林、芝山、何しろ全国一少ない支部会員数のためでもありますが出席率はこれでも四割です。写真で見られよう会員の少ないところを同伴家族で補つて盛況を得た次第。

北海道支部より

三
三
三

卷之三

組んで居りますが、由下のところ

れに加わつて真剣にこの問題と取

員会が設けられ、夫々の専門家が

なつて、各都市にはスマート対策

メリカにおける重大問題の一

を都市から除去すべきかゞ現下の

ます。そこで如何してこのスモー

のスマーケの問題に悩まされて居

の差はありますか、殆んど総てが

んで居り、アメリカの各都市は多

象異変をアメリカではスマートと

近代文明が齎らしたこのような

も発生しました。

めに学校が休校になるといつた事

陥し入れることがあります。この

ガソリンの過剰と流れ作業式自動車製造工業が主なアメリカの悲劇



体百六十ドルか二百二十ドル掛け込みは二年間で皆済出来るとのことであります。尚ほこの車は一年間は無修理で乗れるとのことであり、二年経つてそろ／＼修理の必要が生じて来たときに、これを売払いますと百六十ドルを引取り人が出て来るそうであります。ですからこの千ドルを払込み金に当てゝ、更に次の新車を購入することが出来るのであります。

個所が空くのを待つために、或るブロツクを相当時間ケル／＼廻つて、自動車を見受けることもあります。また駐車するにしても無料では出来ず必らず料金を取られます。シネラマを観にハリウッドまでドライブして貰つたときも観覧料以外に駐車料として一ドル支払つたことがあります。そのような訳でアメリカには駐車の煩を避けるために自動車の内にあつて観覧出来る Drive in theater というのがあります。これは野外映画劇場で自動車をそのまま乗り入れ、劇場に設けられたラウド・スピーカーを車の窓ガラスに引ッ掛けて音声を聞きながら画面は直接車内から観る仕組みになつて居り、自動車ラッシュに喘ぐアメリカならでは見られない現象の一つであります。

木村章介君歓迎會上林明
於中央電氣株式會社
木村章介君歓迎會上林明
於中央電氣株式會社
木村章介君歓迎會上林明
於中央電氣株式會社

街の四ツ角には昼は万国旗をヒラ／＼させ、夜はイルミネーションに照らし出された中古自動車販売所があります。安いものになると五十ドル位いのものからあります。

何れにしても、そこまでしなければ動かは或る意味では不幸な国と言ふことも出来るのでありますよう。

続
く

| | | |
|----------------------------|--|---------------|
| 大明 | 昭和 | 一 |
| 四四四 | 二二二二二 | 一一一一一 |
| 九八七六五 四三五四一 | 九八八七四 | 六六五四二一七六四 |
| 九七三 | 新 | 三三一八七 |
| 小仙山大三中小松真河国 沢石西塚宅谷篠浦崎合弘 | 山侯高東加山松岩久磯近高今尾 崎野水橋松藤下田崎場藤橋水繩下田田田々田藤田 | 宮森藤野佐浅進高木 |
| 仙甲清徳 | 泰経孝主 | 英義文好康貞一信隆虎英陽信 |
| 吉三信雄豊潔進一二二重 | 助一正臣司裕功男隆雄弘修治男雄光正男正直吉男 | |
| 菅閔宮本崎佐琴賢祐加枝 | 日由より (第三回) | 度 |
| 金井渡辺 | 徳前原 | 三佐浦々木 |
| 宝来勇四郎 | 永原 | 今立井山村松上根 |
| 利義競 | 恒之 | 江副吉村 |
| 二一枝 | 昭壽一 | 大杉 |
| | 晶正治堯明 | |
| | 卓定雄 | |
| | 弥 | |
| | 幹 | |

洛友會費領收

昭二五一佐西垣前渡片遠々田山水岐西梶浜土小大今西
枝津田辺山藤木代上内美谷島方森山村村
英万鹿
一安一辰主四忠兼亜昭之修駿康弁
均道雄輝馬郎寛孝浩雄姫通次次助二介隆造
下奥平石橋竹種侯本高巽芝藤今櫛林島
木村原井川本安田野多田原田田原
下寛直麻太
反正芳一辰真太太靜三良貞誠英吉正
男養郎雄吉保郎郎雄郎知吉治作三一実

木荒村萱徳中大山前山貝福日松中山三森野宇木玉武安加土中今門竹河立岩馬久信柴西山磯高山南島田近田上福高富守伊今尾南宮大木田島永村沢崎原本野田比并田本浦岡中磨島井田藤井村村野村原松崎原湯沢田根井口野田中藤辺之慶橋谷井水繩部下塚
谷昌善内武園
聲幸与廸謙泰恒茂政克正高春昭教太哲慶圭正三晶忠信英灑義一福一文公春幸輝文輝親泰篤昌久康貞一一恭根襄夫三天清一助之雄弘雄男臣義也二健広成昭郎夫一司之郎正幸弘滋治男夫隆郎夫郎明雄雄男雄重次治雄佐一修夫造照治男郎雄二
木松天田塙長間佐大大朝池松沢東和堀重佐佐藤坂山須浅香松井岡岩塙広池鈴鑓松山近荒氏森船江吉加武小
村枝野所見谷瀬藤西泊比内村松氣本々野原田下巖野川田上崎本本田内上木野本本藤井原田橋副村藤田林
橋川奈謙木木慶
隆克太欣利光文淑浩昭孝孝二直喜喜雅邦一収正正市方義芳照政好清岩英礼卓定孝忠
次磨郎治男安朗紀弘勝隆一晋二臣喜郎三一藏一寿裕郎一明彦堯敬平徹季則郎彦寿肇男弘次雄男藏弥雄一進男